



世界に希望を生み出そう

2023～24 年度国際ローター・テーマ
RI 会長:ゴードンR.マッキナリー (スコットランド)

鹿屋西ロータリークラブ週報
WEEKLY REPORT
NEWS
<http://www5.synapse.ne.jp/Kanoya24/>
ROTARY 第2097回



バラ [愛、美]

2024年6月17日

◆ゲスト紹介

鹿児島県東部グループ ガバナー補佐 上村裕治様

◆ビジター紹介

[かのや東 RC] 百枝敏郎さん

◆会務報告

1. 米山学友会総会開催のご案内
日時：2024年6月30日(日)11:30～受付
場所：薩摩味市場 極(きわみ)
2. お礼状(ホーイスカウト鹿屋第1団ビバー隊長 野元様)
3. 第59回インターアクト年次大会開催のご案内
日時：2024年8月4日(日)10:00 開会式
場所：串間温泉いこいの里
4. 2024-2025年度 第1回奉仕プロジェクト部門勉強会のご案内
日時：2024年7月22日(月)18:30～
会場：ZOOM
5. 令和6年度かのや夏祭り「総踊り」参加者募集(鹿屋市国際交流協会)
6. 令和6年度鹿児島県青少年育成県民会議総会の終了について(報告)
7. 令和6年度かのや夏祭り賛助金のお願い
8. 特別授業の資料(相模原南 RC 中村辰雄様)
9. 週報 …………… 鹿屋 RC・かのや東 RC

会長の時間

会長 前田数郎さん

いよいよ、本日を含めラスト2回の会長の時間と成りました。本日の会長卓話は本年度国際ロータリーでも取り上げられていますメンタルヘルスに付いてお話したいと思います。



身近な処でも起きているこころの病気と言う事で最近、多分皆さんの身近な人もこころの病気を発症しておられる方がいらっしゃるのではと思います。皆さんもご存じの方が多いと思いますが当時、当クラブのメンバーでも有った、こころの病気を発症したで有ろう人と最近、2回程お会いしました。彼とは中学時代からの友人で、気の良い人間でカラオケが上手く酒の好きな人です。彼を悪く言う人を聴いた事が無い位です。私自身も彼の病状を非常に心配している一人です。現在は表情も無くなり、会話も少なくじっと座って居られなく、すぐ歩き回らないと落ち着かない、ぐっと年を重ね老け込んでしまっている様に思えました。奥様が付きっきりで目も離せない状態だと言う事です。奥様や家族の心労も計り知れない事だろうと察しています。

そんな彼が何故、こころの病気を発症したのか。私成りに考えるのは仕事でメーカーからの永遠と続く売上目標へのプレッシャー、業界の代表としての仕事、子供の進学、子供の夫婦関係の心配、などなど色んなストレスが蓄積して行き、ある日突然、こころの病気として発症してしまったのではと想像しています。

私自身も会う機会が多く、近くに居て早めに気付いて何か手助け出来なかったか?しかし、どんな手助けをすればよかったのだろうか?とか、自分の気配りの無さにも無念に思っています。

最近、奥様と一緒に近い仲間の飲み会にも夫婦で顔出しをしてくれて、少しずつでも前の彼の姿に戻って来て居ると信じています。

そんな中でも「がんばれ」とか「しっかりしろ」と

次回プログラム	
7月01日(月)	
卓話者:	会長
担当委員会:	会長
3分間スピーチ:	—
出席報告	
会員数	(38)44名
出席数	32名
出席率	84.21%

メイクアップ情報			
鹿屋	06月26日	(水)	ホテルこぼやし
かのや東	06月27日	(木)	かのやランドホテル
串良	06月24日	(月)	セントロ大隅
志布志	06月25日	(火)	大黒本店
きもつき	06月25日	(火)	高山温泉ドーム 第4週:例会無し
南九州大崎	06月27日	(木)	セントロランド
志布志みなと	06月26日	(水)	大黒本店 19:30～

鹿屋西ロータリークラブ

会長：前田数郎
副会長：遠矢達一
幹事：梅北健一



例会日 月曜日 12:30～13:30
例会場 ホテルさつき苑 TEL:40-1212
事務局 〒893-0064 鹿屋市西原1丁目9-10
ホテルさつき苑内 TEL:44-5811 FAX:41-1959
E-mail kanoya24@po5.synapse.ne.jp

か禁句だとロータリーの研修会「メンタルヘルスへの取り組み」で勉強していましたので、刺激を与える事が無い様に心がけて少ない会話をする事でした。

そんな中、YouTubeで「最後の講義」今日もし人生最後の日だったら何を伝えたいか。と言うNHKの番組がありました。講師として演出家の宮本亜門さんの話を拝見しました。

内容は心の問題、メンタルヘルスに付いてです。まず、はじめに自分自身の人生ドラマグラフを作ってください。今までの人生の中で一番良かった時期（ピークの時）、一番悪かった時期（最悪の状態の時）を時系列にグラフを作って、良かった時が何故落ちて行ったか？悪かった時どの様に克服出来たのかを客観的に振り返る事が大事との事でした。そのグラフから自分の人生を第三者的に舞台として見る。そして辛い時は、自分が一番良かった時期（ピークの時）の時を思いだして、好きな自分の時の自分の振りを演じて見る事だと言う事でした。物事を客観的に見る事が大切な事だと言う事です。宮本亜門さん自身にがんが発見された時、その事を実践され死を怖がる事をやめる事にしたそうです。これで終わりだ、全てだと思わない事。生きている事が凄い事だと思う、まだ生きている事で人を幸せする事が出来るかも知れない。生きている以上出来る事が有る。人生2度なし。と覚悟したそうです。人間、心の持ちようでプラス志向の人生を歩く事が出来ると感じました。宮本亜門さんの話はこころの病気と戦う上で大きなヒントの様な気がしました。

人間は弱い動物です。まして、ここに居るロータリーメンバーは責任有る方々ばかりです。経営者、責任者は孤独だと言われます。是非、心配事や悩み事は一人で悩まず信頼出来るロータリークラブの仲間に相談して見て下さい。きっと話を聴いてくれると信じています。それもロータリークラブに入っているメリットかも知れません。以上で会長卓話を終わります。

ご清聴ありがとうございました。

3分間スピーチ **一年間を振り返って**



一村さん 王谷さん 假屋さん

一年間を振り返って



山崎(一)さん 大石さん 前田(健)さん



山崎(隆)さん



祝 上村ガバナー補佐よりお祝い贈呈



ご挨拶 鹿児島県東部グループ
ガバナー補佐 上村裕治様
ガバナー補佐としての最終クラブ訪問にあたり一言ご挨拶申し上げます。



昨年の6月26日に、前の上村雅彦ガバナー補佐の退任挨拶に同行させていただき、私の就任挨拶をさせていただいてから、早くも一年が過ぎようとしています。

9月10日の池ノ上克ガバナーの歓迎会に始まり、翌11日の公式訪問。ロータリー奉仕デーの第一弾と海岸清掃の第二弾、2月3日(土)黎明館講堂で行われた「メンタルヘルス講話」等々、前田会長、梅北幹事さんをはじめ、クラブ会員の皆様には大変お世話になりました。

この場を借りて深く感謝申し上げます。

今年度、鹿児島県東部グループでは、めざせ!!「ロータリー賞」ということで、グループ内の8クラブが共通の目標をもって取り組んでまいりました。第1回目の会長幹事会にてこのことへのご理解をいただき、2回目、3回目と会長幹事会を開催するたびに各クラブの進捗状況を確認したり、設定した項目をすでに達成されたクラブとの情報交換をしたりと、年度中はこのことにも注力していきました。

今回の「ロータリー賞」受賞への取り組みで、鹿屋西クラブさんは17項目を設定されたうちの13項目をすでに達成されて、見事ロータリー賞の獲得見込みとなりました。誠におめでとうございます。グループ内各クラブの皆様のご協力のお陰で、本日(令和6年6月17日)現在で、8クラブ中7クラブが「ロータリー賞」を獲得できる見込みです。あとのひとクラブも、あと2項目の達成を残すのみ

として現在も頑張ってくださいしております。
新年度の地区大会では、鹿児島県東部グループ全8
クラブの代表の方々が壇上に上がり、表彰される
日がとても楽しみです。

「ロータリー賞」は、次年度以降「RI クラブ優秀
賞」へと変わり、20の目標のうち11以上を選択し、
11以上達成することが求められます。今回、皆さん
がチャレンジされた「ロータリー賞」受賞への取り
組みは、いわばクラブ活性化のツールであると認識
しております。どうぞ次年度以降の「RI クラブ優秀
賞」へも挑戦されてみてはいかがでしょうか？

最後に、この一年間ガバナー補佐としての役目を
果たすことができましたのは、鹿屋西クラブの皆様
方をはじめ、東部グループ内各クラブのご協力によ
るものと重ねてお礼申し上げます。そして、鹿屋西
クラブの今後ますますの発展とご活躍を祈念いた
しまして、ガバナー補佐退任の挨拶といたします。



3分間スピーチ

一村彩子さん

こんにちは。株式会社ベリーのおうち一村彩子で
す。私もいよいよ6月でロータリアン生活2年目に入
りました。この1年間多くのことを体験させていただ
き、学びのある時間になりました。

そして、ここで、皆様に一村がどのように映って
いるのかを教えてくださいたいと思っています。

(王谷先生・滝本さん、無茶ぶりに答えていただき
ありがとうございました)

「元気」「パワフル」そうなんです。これまでの人
生、多くの方にそう言っていただいいてきました。
ただ、今日は敢えてそうでもない一面を皆様にお話
させていただきます。

私は47歳で前身であるドッグハウスベリーを
開業しました。最初の頃はこの地域で一般的でない
(知られていない)施設だったのでお客様は来られ
ず🐾しかし、少しずつの口コミから皆様に知って
いただくようになり、5年目には通算1800頭を
超えるワンちゃんの登録がありました。

当時は犬と家族と一緒に遊んで楽しみ、そして学ぶ
場所がなかったため、ベリーでイベントを案内する
と10分で満員御礼。キャンセル待ちになり、「ベ
リーのイベントは嵐のコンサートチケットをとる
より難しい」と言われていました。ワンちゃんもご
家族もつながりを持ち、遊びの中でお散歩マナーや
熱中症対策などの学びを深めてきました。

が!!!コロナを境に大きく変わってしまった
のです。人が集うことができない・お散歩すら行き
にくくなってきたということで、ワンちゃんのお預

かりやお泊まりは大変増えました。そしてコロナ禍
にあって新しく犬を迎えた家庭も増えました。

ドッグハウスベリーは「愛犬とともに楽しむ・学ぶ
ところ」から「愛犬を預けるところ」に変化してい
きました。ちょうどそのころが、ベリーの新規お客
様増加の時期と重なっているのですが、もともとの
スタートが「預けるところ」としての意識なので、
コロナが落ち着いてきた現在、一緒に愛犬ちゃんと
学びましょう!の「しつけ教室」などのイベントは
「は?」です。ワンコ服などのフリーマーケットイ
ベントは大盛況🌟 愛犬との触れ合い方や遊び方
を体験する貸し切りドッグランは「は??」

多くのワンちゃんがいてワイワイランランできる
ドッグランへGO🐾 「学び」よりも「映え」重視
になっている状況を危惧しています。

【家族としてペットの命を守れますか?】の防災
イベントもどうなることやら。

ベリーママとしてこれからも変わらずに「愛犬ちゃ
んご家族の笑顔のために~happy life のかけは
し~」そして犬の総合施設「ベリーのおうち」はが
んばっていきたいと思います!

ただ、とっても辛いです(´;ω;)ウッ...

そんな私にとってこの1年間のロータリーでの
時間は、前半はただ美味しいランチを食べるのが楽
しみで♥でした。後半になり、毎週の卓話での学び
をメモすることができるようになりました。

そして私自身多くの先輩方に影響を受けながら癒
され元気をいただいています。7月からはまた大き
な任務を任されることとなります。次に入った方が
少しでも安心と楽しみを感じてもらえるようこれ
からもがんばっていきたいと思います。

*スピーチ内容の要約になります。あと、一個人と
して生きてきた一村彩子が会社を持ち、これまで背
負うことのなかった重責に飲み込まれそうだった
時、立場上そして誰にも言えずにくずれてしまいそ
うだった時に、西クラブの仲間(おそれおおいです
が🐾)が私にはいるんだと本当に思えました。

私などには想像もできない荒波を経験されている
先輩方のお話をこれからももっともっと伺って、真
のロータリアンになれるようがんばっていきたく
と思います。(←2年目からの目標)

『自分にも周りにも魔法を』

p.s.でしたでした!うちには多くのセラピードッグ
がいるのでした。癒されまくりたいと思います(笑)



社会奉仕委員長 大石博資さん

私はロータリー歴19年になり、この間、会長と

か、いろいろな委員長を担当させていただきました。ところが、未だに奉仕活動につき理解が不十分だと感じています。そこで、ロータリーの「社会奉仕」とは何かを振り返ってみました。

1927年の国際大会で「四大奉仕の分割」が採択されるまでは、「社会奉仕」とは、「一般奉仕概念」で、「一般社会全体への奉仕」すなわち広義の社会奉仕でした。広義の社会奉仕とは、家庭・クラブ・職業・業界・地域社会・国など、あらゆる場面や状況での奉仕でした。

しかしながら、四大奉仕に分割されて以降の社会奉仕は、「地域社会奉仕（狭義の社会奉仕）」に変わりました。この変化を受けて、鹿屋西ロータリークラブ定款では、社会奉仕は、「クラブの所在地域に居住する人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら、会員が行うさまざまな取り組み。」となっています。

この定款に基づき、今年度計画を立案して実行いたしました。とりわけ、皆様の協力を得て実施しました、クラブ所在地域にある、高須海岸清掃は、約60名の高校生・町内会・市役所・報道機関と共に総勢110名で有意義な奉仕活動が出来たことに、感謝しています。ありがとうございました。



国際奉仕委員長 假屋博行さん

皆さんこんにちは、

本年度、龍潭クラブに西ロータリークラブの公式訪問が計画されている年度とは、つゆ知らずに国際奉仕委員長を前田会長から引き受けました。假屋です。委員長として至らぬ点一杯あり皆様にいろいろなお苦勞をお掛けしましたが、結果としましては、会員の皆様の御協力により総勢14名（会員10名、ご家族4名）が参加していただき、また龍潭クラブの熱烈な歓迎の下に大変有意義かつ記憶に残る国際交流が実現できたと思っています。

これは、偏に会長・幹事をはじめとする会員皆様の御協力の賜物と感謝している次第です。この場をお借りしまして、あらためて感謝申し上げます。

最後に、世界の状況が混とんとしている現状がありますが、市民レベルでの交流を重ねることで少しでも世界平和に貢献できるのではないかと考えていますので、龍潭クラブとの交流が末永く継続できることを祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。



青少年奉仕委員長 山崎一浩さん

青少年委員長に任命されて早いもので1年が過

ぎようとし、最初はわからないことばかりで戸惑いも多く、何をしたらよいかわからない中、深水副委員長をはじめ、いろいろな会員の皆様にアドバイスをいただき本当にたすかり、無事に任務を全うしようとしています、本当にありがとうございました。思い返すと青少年委員会は、夏に実施内容が多く戸惑いもおおかつたのですが、中でも印象に強いのは昨年8月に鹿屋で開催されたインターアクトの年次大会でしょうか。

4年ぶりに開催された大会でしたが、70名強の生徒が参加し、各学校の活動内容の紹介や今後の目標などを発表し、私が高校生の時とは随分気持ちや考え方が違うと感じ、感心させられたことを思い出します。また、生徒と食事をした時の各学校の顧問の先生との話や生徒との話など現在の生徒さんの考え方など非常に参考になりました。

最近の若者はZ世代とも呼ばれ、生まれた時からインターネットやデジタルデバイスが一般的に普及している世代ですよ。当然一人ひとり考え方は異なるため、「最近の若者だからこうだろう」と決めつけるのはよくありませんが、若者の一般的な価値観や特徴を理解することは、指導や育成の際に大いに役立つのも事実かなと感じます。

中でも話をして感じたことは、周囲からの見られ方をあまり意識しない、納得しないと動かないなど。感じたところでした。

また、韓国インターアクト生との国際交流事業や平和の花束事業など印象に残る活動もあり、個人的にも大変勉強になることばかりでした。

時間があるので少し話が飛ぶんですが、青少年の基本方針にも記載していたのですが、長期化しているロシア・ウクライナ戦争は、いつ、どのようになれば終わるのでしょうか。

ウクライナ支援のとどこおりや関心の低下が指摘されるなかで、終戦のあり方については、多くの人の関心を呼んでいるように思います。

では、そもそもウクライナにとって、終戦とは何でしょうか。この問題は明白なように見えるものの、実はそれほど具体的に明示化されているわけではないように思います。これまでのゼレンスキー大統領の発言を見ても、国境の回復や安全保障、プーチン大統領などに対する侵略行為の処罰、自国史を持つ権利の確保など、実に様々な主張がなされており、終戦の意味は様々であるように感じます。

さらに国境線についても、2022年のロシアによる大規模攻撃前の国境か、1991年の独立時の国境かで議論が分かれた時期もあるように思います。

ウクライナにとっての終戦の意味は、決して自明

(じめい)ではないと考えます。
本当に今後どうなるのでしょうか。

最後に今後の課題としては、鹿屋中央高校や鹿屋工業高校のインターアクト生との交流を通して支援・育成をどのように推進するのかということです。両高校の顧問の先生のご尽力もあり、それぞれの高校にインターアクト生が確保できている状況のため、今後もこの縁を絶やさないように学校との連携及び支援を継続していくことが大切であると考えています。

大変有意義な体験ができて楽しい1年でした。
1年間ご協力本当にありがとうございました。



奉仕プロジェクト委員長 王谷英仁さん

各委員長の皆様 1年の振り返りありがとうございました。少し時間がありますので奉仕についてお話をいたします。

以前に奉仕とは、「見返りを求めてはいけない、そしてその見返りとはその対価や謝礼だけでなくお礼の言葉さえも期待しない」のが本当の奉仕であるという旨の卓話をさせていただきました。なかなか人間ができていないと、つい「あんなに心配して尽くしてあげたのにお礼の一言もない」などと愚痴ってしまうことは時々耳にすることがあります。

さて奉仕についてはロータリーのスローガンである「最も奉仕するもの、最も報われる」が我々の行動指針の一つであります。ひねくれた見方をするとこの最も報われるには、「報われることを前提に奉仕をする」つまり見返り期待じゃないかといった考え方もあると思います。これは考えすぎでしょうか。

そこで今日はイギリスの首相を務めたウインストンチャーチルの言葉を紹介いたします。それは「我々は得たもので生計を立て、与えることで生きがいを作る」という言葉です。奉仕つまり人に与える事で私たちは人間性を磨き、大きな人間になるのだから自分のためにも無心となって様々な奉仕を実行していきましょう。
一年間ありがとうございました。



ロータリー財団委員長 前田健治さん

皆さん、こんにちは。
ロータリー財団委員長の前田健治です。
1年を振り返りまして、あまり何もできずに1年が過ぎようとしています。寄付金等も思うような結果が残せず、声掛けが足りなかったと反省しています。私が最後に出来る事は、もう一度皆さんに協力をお願いをする事です。ロータリー財団への理解をいた

だき寄付への協力を何卒よろしくお願ひします。
1年間ご協力いただきました事に感謝いたします。
ありがとうございました。
最後に、引き続き次年度もよろしくお願ひ致します。
次年度のロータリー財団委員長は遠矢さんです。
よろしくお願ひいたします。



米山記念奨学委員会 山崎隆夫さん

今なお、世界各地で紛争が続く中、池の上克ガバナーの「平和を求め、希望あふれる、明るいロータリーライフを進めよう」の理念、前田会長が掲げる「手に手を取って明るく楽しいロータリーライフを始めよう!」の理念から、平和を享受する有難みをかみしめ、母国と日本の架け橋となり国際社会で活躍する留学生を奨励する米山記念奨学会の個人による安全保障の側面を推し進めていくことが世界平和の実現に繋がると考えております。そのことを自分を含めて、皆さんに理解していただき、財布のひもを緩め、快く寄付をして頂くための努力が、まだまだ不十分だったと反省しております。

卓話は、マイロータリー等、ネットから検索したところ、アニメーション入りのパワーポイントの丁度良い教材があり、しかもデータの的にも古くない、分かり易い、良い資料がありました。

寄付目標に到達は出来ませんでした、今年度米山功労者の表彰者が、結構いたこと、継続的な積み立てを利用したものであったことから、継続的な積み立ての有用性が実感できました。

今後は、継続的な積み立てを行う人の勧誘、積立額の増加のお願ひ等を戦略として確立していくことが良いかと思ひます。その点の協力は、私自身も行おうと思ひます。次年度の委員長には、是非目標達成を実現して頂きたいと思ひます。



◆スマイル報告

〈 4 件 〉

- 久し振りのメイクです。よろしくお願ひ致します。
..... (かのや東 RC) 百枝さん
- 上村ガバナー補佐、二度目の大役ご苦勞様でした。いよいよ次は〇〇〇〇ですね。頑張ってください。
百枝さん、ようこそ鹿屋西クラブへ。一村さん素晴らしい3分間スピーチでした。..... 風呂井
- 上村ガバナー補佐、一年間お疲れ様でした。今後、益々のご活躍を祈念いたします。..... 北山
- 誕生祝ありがとうございました。..... 竹之内

本日計 7,000円 累計(一般) 410,300円
(財団) 139,700円 (米山) 98,194円

***** ありがとうございました *****

週報担当：東濱